

平成30年度
国家公務員

海上保安学校学生採用試験

- 高等学校卒業程度 -
受験案内
人事院・海上保安庁



「うみまる」と「うーみん」

◇試験の区分◇

船舶運航システム課程、航空課程、情報システム課程、管制課程、海洋科学課程

◇試験の日程◇

受付期間	<p>申込みは、インターネットにより行ってください。 7月17日（火）9:00～7月26日（木）[受信有効]</p> <p>※ インターネット環境（原則パソコン）及びプリンターが必要になります。◇受付から第1次試験日までの注意事項◇（6ページ参照）をよく読んでください。 ただし、インターネット申込みができない特段の状況にある場合は、各管区海上保安本部等又は人事院各地方事務局・沖縄事務所に問い合わせてください（10ページ参照）。</p>	
第1次試験日	<p>9月23日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船舶運航システム課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～12:40（試験終了） ・航空課程、情報システム課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～14:45（試験終了） ・管制課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～15:05（試験終了） ・海洋科学課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～15:45（試験終了） 	
第1次試験合格者発表日	10月10日（水）9:00	
第2次試験日	<p>10月16日（火）～10月25日（木）</p> <p>第1次試験合格通知書で指定する日時（航空課程は2日間） （日時の変更は、原則として認められません。）</p>	
最終合格者発表日 （航空課程を除く。）	11月20日（火）9:00	
第2次試験合格者発表日 （航空課程）		
航空課程のみ	第3次試験日	<p>12月1日（土）～12月11日（火）</p> <p>第2次試験合格通知書で指定する2日間 （日時の変更は、原則として認められません。）</p>
	最終合格者発表日	平成31年1月17日（木）9:00

◇受験資格◇

- (1) 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、平成30年4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して5年を経過していないもの等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

* 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
 - 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

◇試験種目・試験の方法◇

- 1 学科（多肢選択式）については、出題範囲が限定されています。詳しくは人事院ホームページを御覧ください。
[http://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sennmonnsyoku_kousotsu/kaigaku/gakkahanni30.pdf]
- 2 ○内の数字は出題予定数であり、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）⑬」とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）の出題分野から13題出題予定であることを示します。
- 3 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は合否の判定のみを行い、その他の試験種目は得点化していません。
- 4 第2次試験（航空課程については第3次試験）の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 5 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。
- 6 身体検査の際に、既往歴及び手術歴について確認します。

【船舶運航システム課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{4}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥）
	作文試験	1題 50分	*	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験	/	$\frac{1}{4}$	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注) 第1次試験合格者は、「基礎能力試験（多肢選択式）」の成績により決定します。
「作文試験」は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に反映します。

【航空課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥）
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	$\frac{3}{8}$	数学及び英語についての筆記試験 出題数は26題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）⑬、 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ⑬
第2次試験	身体検査	/	*	一般検査、呼吸器系検査、循環器系検査、消化器系検査（口腔及び歯牙を除く。）、血液及び造血臓器検査、腎臓、泌尿器系及び生殖器系検査、運動器系検査、眼検査、視機能検査、耳鼻咽喉検査、聴力検査、口腔及び歯牙検査、総合検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査
第3次試験	人物試験	/	$\frac{2}{8}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	精神及び神経系検査
	適性検査		*	模擬飛行装置等を使用しての操縦検査

【情報システム課程、管制課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥）
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間 (注)	$\frac{3}{8}$	数学及び英語についての筆記試験 出題数は26題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）⑬、 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ⑬
第2次試験	人物試験	/	$\frac{2}{8}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注) 管制課程については、数学（13題）、英語（13題）を1時間ずつ分けて実施する。

【海洋科学課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑨、社会科学⑥）
	学科試験 (多肢選択式)	39題 3時間	$\frac{3}{8}$	数学、英語及び物理についての筆記試験 出題数は39題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）⑬、 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ⑬、 物理基礎、物理⑬
第2次試験	人物試験	/	$\frac{2}{8}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	鉄棒両手ぶら下がりによる検査

◎ 体力検査の内容

基準に達しないものが一つでもある場合は、体力検査で不合格となります。

ただし、海洋科学課程は鉄棒両手ぶら下がりのみを実施します。

反復横跳び（敏しょう性） …… 100cm間隔に引かれた3本のライン上で、20秒間のうちに何回サイドステップすることができるかを検査します。男子44回以上、女子37回以上を基準とします。

上体起こし（筋持久力） …… ひざを曲げ、あおむきに寝た姿勢から30秒間のうちに何回上体を起こすことができるかを検査します。男子21回以上、女子13回以上を基準とします。

鉄棒両手ぶら下がり …… 水平に設置された直径約2.8cmの鉄棒を両手で握り、両足を床から離してぶら下がり、10秒以上耐えることができるかを検査します。

次のいずれかに該当する者は不合格となります。※申込みにあたっては、下記の基準（数値）に十分留意してください。

船舶運航システム課程、情報システム課程、管制課程

- 身長が男子157cm、女子150cmに満たない者
- 体重が男子48kg、女子41kgに満たない者
- 視力（裸眼又は矯正）がどちらか一眼でも0.6に満たない者
- 色覚に異常のある者（職務遂行に支障のない程度の者は差し支えない。）
- どちらか片耳でも2,000、1,000、500各ヘルツでの検査結果をもとに算出した聴力レベルデシベルが、40デシベル以上の音の失聴のある者
- 四肢の運動機能に異常のある者

海洋科学課程

- 視力（裸眼又は矯正）がどちらか一眼でも0.6に満たない者
- 色覚に異常のある者（職務遂行に支障のない程度の者は差し支えない。）
- どちらか片耳でも2,000、1,000、500各ヘルツでの検査結果をもとに算出した聴力レベルデシベルが、40デシベル以上の音の失聴のある者
- 四肢の運動機能に異常のある者

航空課程

- 身長が158cmに満たない者又は190cmを超える者
 - 体重が男子48kg、女子41kgに満たない者
 - 各眼が裸眼で0.7以上及び両眼で1.0以上の遠見視力を有しない者又は各眼について、各レンズの屈折度が(±)8ジオプトリーを超えない範囲の常用眼鏡により0.7以上、かつ、両眼で1.0以上に矯正することができない者
 - どちらか一眼でも80cmの視距離で、裸眼又は矯正により近見視力表(30cm 視力用)の0.2の視標を判読できない者
 - どちらか一眼でも0～50cmの視距離で、裸眼又は矯正により近見視力表(30cm 視力用)の0.5の視標を判読できない者
 - 色覚に異常のある者
 - どちらか片耳でも、次のいずれかの失聴のある者
 - ・ 3,000ヘルツの周波数において50デシベル超
 - ・ 2,000ヘルツの周波数において35デシベル超
 - ・ 1,000ヘルツの周波数において35デシベル超
 - ・ 500ヘルツの周波数において35デシベル超
 - その他航空業務遂行上支障のある者
- ※ 身体検査については、航空身体検査マニュアル平成19年3月2日「国空乗第531号国土交通省航空局長」の「Ⅲ 航空身体検査項目等」で定めている基準等に準じて実施します。

◇採用予定数◇

- ・ 船舶運航システム課程 約180名
- ・ 航空課程 約25名
- ・ 情報システム課程 約60名
- ・ 管制課程 約20名
- ・ 海洋科学課程 約15名

採用予定数は5月1日現在の見込みであり、今後変動する場合があります。変動があった場合には最新の情報を7月中旬に、別途人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）に掲載する予定ですので、御確認ください。

◇試験地◇

第1次試験地			
札幌市	函館市	小樽市	旭川市
釧路市	青森市	盛岡市	塩釜市
秋田市	水戸市	東京都	横浜市
新潟市	松本市	静岡市	名古屋市
金沢市	京都市	舞鶴市	大阪市
神戸市	和歌山市	米子市	広島市
高松市	松山市	高知市	福岡市
北九州市	長崎市	佐世保市	対馬市
熊本市	大分市	宮崎市	鹿児島市
奄美市	那覇市	石垣市	

第2次試験地（航空課程を除く）		
小樽市	塩釜市	横浜市
新潟市	名古屋市	舞鶴市
神戸市	広島市	高松市
北九州市	鹿児島市	那覇市

第2次・第3次試験地（航空課程）
東京都

- (注) 1 第1次試験地及び第2次試験地については、それぞれ受験に便利な1都市を選んでください。
 なお、航空課程の第2次試験地及び第3次試験地は東京都のみです。
- 2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合もあります。
- 3 受験申込完了後における「試験地」の変更は認められません（6ページ参照）。

◇受験上の配慮について◇

身体の障害等があるため、着席位置の指定等、受験の際に何らかの措置を希望される方は、あらかじめ申し出てください（事前の届出及び許可が必要です。）。

申込時にあらかじめその旨を第1次試験地を管轄する海上保安本部等（10ページ参照）に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容などを入力してください。

◇受付から第1次試験日までの注意事項◇ ◇インターネット申込みの流れ◇（7ページ）と併せて御確認ください。

1 受付期間（インターネット申込み） 7月17日（火）9：00～7月26日（木）〔受信有効〕

7月26日（木）までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。余裕を持って申込手を完了してください。

お使いのパソコンで申込手が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

2 申込方法

インターネット申込専用アドレス [http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html]

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

申込手続は、「事前登録」と「申込み」の2段階になっています（平成30年度に行われる他の国家公務員採用試験において、既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は事前登録は不要です。）。

「事前登録」だけでは申込完了にはなりません。「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

また、「事前登録」の際に登録したメールアドレスは、受験票発行通知メールが届き受験票を作成するまで変更しないでください。ユーザーID及びパスワードは、個人の試験結果(成績)の確認の際にも必要になりますので、忘れないように必ず控えておいてください。

ユーザーID	
パスワード	

パーソナルレコード（インターネット申込手続に入る画面の下方）から、左記ユーザーID及びパスワードでログインすることで申込内容の確認ができます。

※予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

3 申込みに関する注意事項

- (1) 申し込むことができる「試験の区分」、「試験地」は一つに限ります。また、申込完了後における変更は認められません。
ただし、「試験地」については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲（転居の場合は、8月6日（月）17時までに申し出た場合に限る。）で変更が認められます。
- (2) 申込みは1回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。
- (3) 「試験の区分」、「試験地」以外の申込内容のうち、「氏名（フリガナ含む）」、「生年月日」、「性別」、「電話番号」、「住所・合格通知書希望送付先」の訂正は第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしないでください。
- (4) 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から8月9日（木）の間（土・日曜日は除く。）は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。
また、第1次試験地を管轄する海上保安本部等（10ページ参照）と連絡が取れるように電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

4 受験票発行通知メールの送信

9月7日（金）13:00～17:00に送信する予定です。受信後、速やかに受験票をダウンロードの上、A4サイズのコピー用紙（普通紙）で印刷（カラー、白黒どちらでも可）してください。

5 受験票のダウンロード及び問合せ期限（9月20日（木）17時以降はダウンロードできません。）

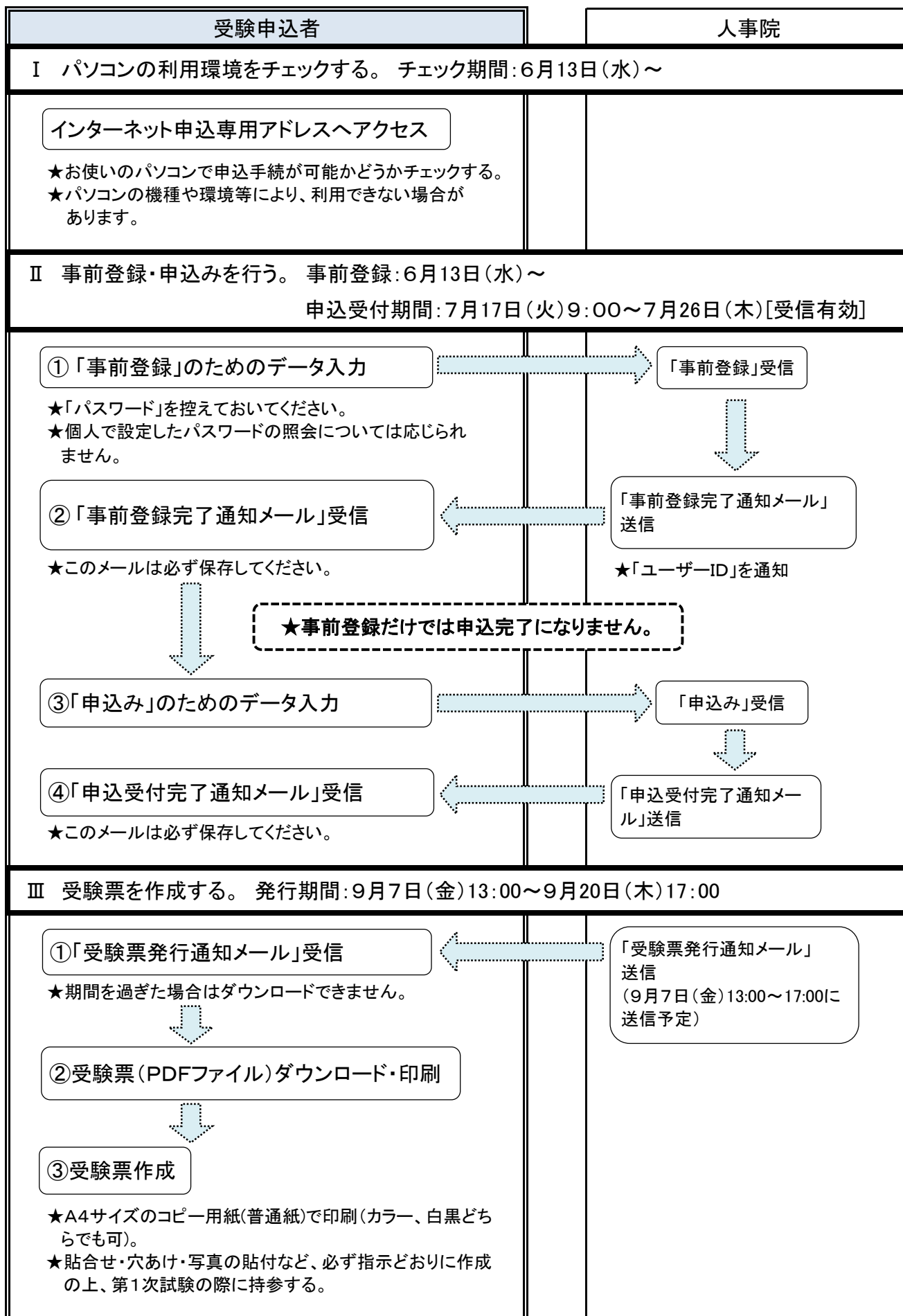
9月20日（木）17時までにユーザーID及びパスワードを入力して受験票をダウンロードし、印刷した後、受験票記載の説明に従って受験票を作成してください。受験票がダウンロードできない場合は、国家公務員採用試験インターネット申込画面のQ&Aを参照してください。ダウンロード期間中にダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコード（インターネット申込手続に入る画面の下方）にログインして、必要な情報を確認してください。

また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地を管轄する海上保安本部等（10ページ参照）に9月21日（金）17時までに連絡してください。

6 第1次試験に関する注意事項

- (1) 受験票には、本人であることが明瞭に確認できる写真（3か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの）を貼り、第1次試験当日に必ず持参してください。
- (2) 第1次試験の試験開始時刻（9時30分）に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付（9時00分開始）を済ませ、指定された席に着席してください。
また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。
- (3) 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や中に置いていた場合は、不正行為となりますので注意してください。

◇インターネット申込みの流れ◇



◇多肢選択式試験の正答番号の公表について◇

第1次試験の「基礎能力試験（多肢選択式）」及び「学科試験（多肢選択式）」の正答番号については、第1次試験日の翌々の9月25日（火）から国家公務員試験採用情報NAVIに掲載します（第1次試験日の翌日の9月24日（月）には掲載しないので注意してください。）。

なお、詳細については、第1次試験日に配布する「受験心得」を御覧ください。

◇合格者の発表◇

	船舶運航システム課程・情報システム課程 管制課程・海洋科学課程	航空課程
第1次試験合格者発表	10月10日（水）9時	
第2次試験合格者発表		11月20日（火）9時
最終合格者発表	11月20日（火）9時	平成31年1月17日（木）9時

発表場所 … 人事院事務総局（〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3 電話(03)3581-5311）
人事院各地方事務局・人事院沖縄事務所（10ページ参照）
海上保安大学校・海上保安学校（10ページ参照）
各管区海上保安本部・大阪海上保安監部（10ページ参照）
函館・小樽・釧路・青森・宮城・秋田・茨城・※東京・横浜・新潟・清水・金沢・舞鶴・和歌山・境・高松・松山・高知・福岡・長崎・佐世保・対馬・熊本・大分・宮崎・奄美・石垣の各海上保安部（10ページ参照）
※東京海上保安部の所在地等は、次のとおりです。
〒135-0064 東京都江東区青海2-7-11 電話(03)5564-1118

インターネットにおいても、合格者の受験番号を掲載します。アドレス等の詳細については、第1次試験日に配布する「受験心得」を御覧ください。

合格者には合格通知書を郵送します。「第1次試験合格通知書」には第2次試験の日時・試験場を指定していますので、第1次試験合格通知書が10月11日（木）までに到着しない場合は、10月12日（金）に受験した試験地を管轄する海上保安本部等（10ページ参照）にお問い合わせください。

また、「第2次試験合格通知書」（航空課程のみ）には第3次試験の日時・試験場を指定していますので、第2次試験合格通知書が11月23日（金）までに到着しない場合は、11月26日（月）に受験した試験地を管轄する海上保安本部等（10ページ参照）にお問い合わせください。

なお、第1次試験合格通知書で指定する第2次試験の日時及び第2次試験合格通知書で指定する第3次試験の日時の変更は、原則として認められません。

人事院及び海上保安庁では、有料で試験の可否の連絡を請け負うことは一切行っていません。

◇個人の試験結果（成績）について◇

個人の試験結果（成績）については、国家公務員試験採用情報NAVIで確認できます。受験申込のパーソナルレコード画面（インターネット申込手続時の画面）からインターネット申込時に使用したユーザーID及びパスワードを入力してください。掲載期間は、第1次試験の際に配布する「受験心得」で御確認ください。

◇採用・給与等◇

1 採用方法及び採用時期

最終合格者は、試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（1年間有効）に得点順に記載されます。海上保安学校では、この名簿に記載された者の中から本人の成績等を考慮の上、採用のための意向調査を逐次行い、最終的に採用者（入校者）を決定します。採用者（入校者）は、平成31年4月に一斉に入校することになります（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。

これらの手続きについては、合格通知書が到着した後に海上保安学校から説明書が送付されますので、それを参照してください。

2 給与

採用当初の額は、147,100円です。

(注) 1 この額は、一般職の職員の給与に関する法律の規定によるもので、行政職俸給表(一)1級5号俸が適用された平成30年4月1日の給与の例です。

2 上記のほか次のような諸手当が支給されます。

扶養手当…扶養親族のある者に支給。子月額10,000円等

期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）…1年間に俸給等の約4.4月分

◇平成29年度の実施結果◇

(単位：人)

試験の区分	項目	申込者数	第1次試験合格者数	第2次試験合格者数	最終合格者数
船舶運航システム課程		3,364 (381)	816 (74)	—	400 (40)
航空課程		179 (18)	84 (5)	26 (4)	14 (3)
情報システム課程		185 (31)	90 (16)	—	68 (16)
管制課程		97 (40)	40 (19)	—	31 (17)
海洋科学課程		84 (21)	24 (7)	—	19 (6)
計		3,909 (491)	1,054 (121)	26 (4)	532 (82)

(注) () 内の数字は、女性を内数で示す。

◇卒業すると◇

○ 船舶運航システム課程 (教育期間1年)

巡視船等に乘組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害及び海洋汚染の防止等の業務のほか、船舶の運航・整備 (航海コース)、機関の運転・整備 (機関コース)、経理・補給・庶務・調理 (主計コース) の業務に従事します。その後、海上保安部署等での陸上勤務もあります。

○ 航空課程 (教育期間1年)

固定翼 (飛行機) と回転翼 (ヘリコプター) の要員に分かれ、さらに一定期間の教育を受けた後、飛行機又はヘリコプターの操縦士として、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害及び海洋汚染の防止等の業務等に従事します。

○ 情報システム課程 (教育期間2年)

巡視船等に乘組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害及び海洋汚染の防止等の業務や通信機器の運用管理の業務等に従事するほか、海上保安部等に勤務し、航路標識の管理運営等の業務に従事します。

○ 管制課程 (教育期間2年)

主に、運用管制官として、海上交通センター等において、航行船舶の動静を把握し、船舶の安全な航行に必要な情報の提供や、大型船の航路入航間隔の調整等を行う業務に従事します。その後、巡視船や海上保安部等での勤務もあります。

○ 海洋科学課程 (教育期間1年)

本庁、管区本部等に勤務し、海洋観測、測量、海図の作成等の業務に従事します。

幹部登用への道

海上保安学校の卒業生は、全ての課程において、所定の実務経験のあと、海上保安大学校の特修科に進むことにより、将来幹部として活躍する道も開かれています。

◇問合せ先◇

問合せの内容により、人事院人材局試験課、下表の海上保安本部等又は人事院各地方事務局・沖縄事務所に御連絡ください（9:00～17:00（土・日曜日及び祝日等の休日は除く。））。

1 インターネット申込みに関する問合せ

人事院人材局試験課 電話（03）3581-5311（内線2333）

なお、インターネット申込用のホームページにはQ&Aがありますので、そちらも参照してください。

国家公務員試験採用情報NAV I [<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>]

2 その他試験に関する問合せ

- (1) 転居による試験地の変更
- (2) 身体の障害等による特別措置の申出
- (3) 受験票の内容
- (4) 合格者発表
- (5) 合格通知書の未着

管轄する 第1次試験地	問合せ先	電話番号
札幌市	第一管区海上保安本部	(0134)27-0118
函館市	函館海上保安部	(0138)42-1118
小樽市	小樽海上保安部	(0134)27-6118
旭川市	第一管区海上保安本部	(0134)27-0118
釧路市	釧路海上保安部	(0154)22-0118
青森市	青森海上保安部	(017)734-2423
盛岡市	第二管区海上保安本部	(022)363-0111
塩釜市	宮城海上保安部	(022)363-0114
秋田市	秋田海上保安部	(018)845-1621
水戸市	茨城海上保安部	(029)263-4118
東京都	第三管区海上保安本部	(045)211-1118
横浜市	横浜海上保安部	(045)671-0118
新潟市	新潟海上保安部	(025)247-0137
松本市	第九管区海上保安本部	(025)285-0118
静岡市	清水海上保安部	(054)353-1118
名古屋市	第四管区海上保安本部	(052)661-1611
金沢市	金沢海上保安部	(076)266-6115
京都市	第八管区海上保安本部	(0773)76-4100
舞鶴市	舞鶴海上保安部	(0773)76-4120
大阪市	大阪海上保安監部	(06)6571-0221

管轄する 第1次試験地	問合せ先	電話番号
神戸市	第五管区海上保安本部	(078)391-6556
和歌山市	和歌山海上保安部	(073)402-5850
米子市	境海上保安部	(0859)42-2532
広島市	第六管区海上保安本部	(082)251-5111
高松市	高松海上保安部	(087)821-7013
松山市	松山海上保安部	(089)951-1196
高知市	高知海上保安部	(088)832-7113
福岡市	福岡海上保安部	(092)281-5866
北九州市	第七管区海上保安本部	(093)321-2931
長崎市	長崎海上保安部	(095)827-5133
佐世保市	佐世保海上保安部	(0956)31-4842
対馬市	対馬海上保安部	(0920)52-0640
熊本市	熊本海上保安部	(0964)52-3103
大分市	大分海上保安部	(097)521-0112
宮崎市	宮崎海上保安部	(0987)22-3022
鹿児島市	第十管区海上保安本部	(099)250-9801
奄美市	奄美海上保安部	(0997)52-5811
那覇市	第十一管区海上保安本部	(098)867-0118
石垣市	石垣海上保安部	(0980)83-0118

海上保安庁ホームページ、海上保安学校ホームページに海上保安庁の業務内容や海上保安学校の教育内容などの情報を掲載しています。

- 海上保安庁ホームページ [<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/bosyu/>]
- 海上保安学校ホームページ [<http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>]

3 合格者発表に関する問合せ

問合せ先	電話番号
人事院北海道事務局	(011)241-1248
人事院東北事務局	(022)221-2022
人事院関東事務局	(048)740-2006～8
人事院中部事務局	(052)961-6838
人事院近畿事務局	(06)4796-2191
人事院中国事務局	(082)228-1183

問合せ先	電話番号
人事院四国事務局	(087)880-7442
人事院九州事務局	(092)431-7733
人事院沖縄事務所	(098)834-8400
海上保安大学校	(0823)21-4961
海上保安学校	(0773)62-3520

人事院各地方事務局（所）のホームページは、人事院ホームページのリンク集からアクセスしてください。
[<http://www.jinji.go.jp/link/index.htm>]

◇個人情報の管理について◇

学歴等の事項は、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動に資する等のために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。なお、入力された個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に従い、人事院及び海上保安庁において適正に管理します。